

第2部 関東食料・農業・農村の動向

3 農商工連携等を通じた農村経済の活性化

(1) 食と農の連携強化

地域経済の活性化に向け、農林漁業者と商業・工業者等との有機的な連携（農商工連携）を普及・促進

農山漁村には、その地域の特色ある農林水産物、美しい景観等、長い歴史の中で培ってきた貴重な資源がたくさんある。

農商工連携は、こうした資源を有効に活用し、地域の基幹産業である農林水産業と商工業の事業者の活性化を図るため、農林漁業者と商業・工業者がお互いの「技術」や「ノウハウ」を持ち寄り、新しい商品やサービスの開発提供、販路の拡大などに取り組むものであり、現在、全国各地で20年7月に施行された「中小企業者と農林漁業者との連携による事業活動の促進に関する法律」（農商工等連携促進法）を活用し、創意工夫を發揮した農商工連携の多様な取組が進められている。

関東農政局では、これまでに農商工等連携促進法に基づく「農商工等連携事業計画」（注1）を39件、「農商工等連携支援事業計画」（注2）を3件認定しており、これら認定を受けた農林漁業者、商工業者等が活発な活動をしている。この認定例として、農林漁業者である有限会社豆太郎（埼玉県）と中小企業者である株式会社ヤマキ（埼玉県）が連携して有機大豆と有機野菜を使用した「ダブル国産有機野菜豆腐」、「ダブル国産有機野菜豆乳飲料」を商品化する取組等がある（認定事業の詳細については、関東農政局ホームページ「関東農政局からのお知らせ」に認定の都度掲載）。

関東甲信越静地域における農商工連携の取組を一層促進させるため、関係機関の連携推進体制として、関東農政局では、関東経済産業局、北陸農政局と連携し、「関東地域ブロック農商工連携推進協議会」を20年8月に発足させた。協議会には、関東甲信越静地域の都県（農政部局及び商工・観光部局連携）、各都県の農林水産団体、商工3団体、流通団体、金融団体・機関など、幅広い関係者157機関（175部局）が参画している。

（注1）「農商工等連携事業計画」とは、中小企業者の経営の向上及び農林漁業者の経営の改善を図るため、中小企業者と農林漁業者とが有機的に連携し、それぞれの経営資源を有効に活用して、新商品の開発、生産若しくは需要の開拓又は新役務の開発、提供若しくは需要の開拓を行うもの。同計画の認定を受けると、事業資金の貸付や債務保証、設備・機械の取得に対する税制等の支援を受けることができる。

（注2）「農商工等連携支援事業計画」とは、中小企業者と農林漁業者との交流の機会の提供、中小企業者又は農林漁業者に対する農商工等連携事業に関する指導又は助言、その他の中小企業者と農林漁業者との有機的な連携を支援する事業である。同計画の認定を受けると、中小企業信用保証の特例（普通保証、無担保保証の別枠化、新事業開拓保証の限度枠拡大等）を受けることができる。

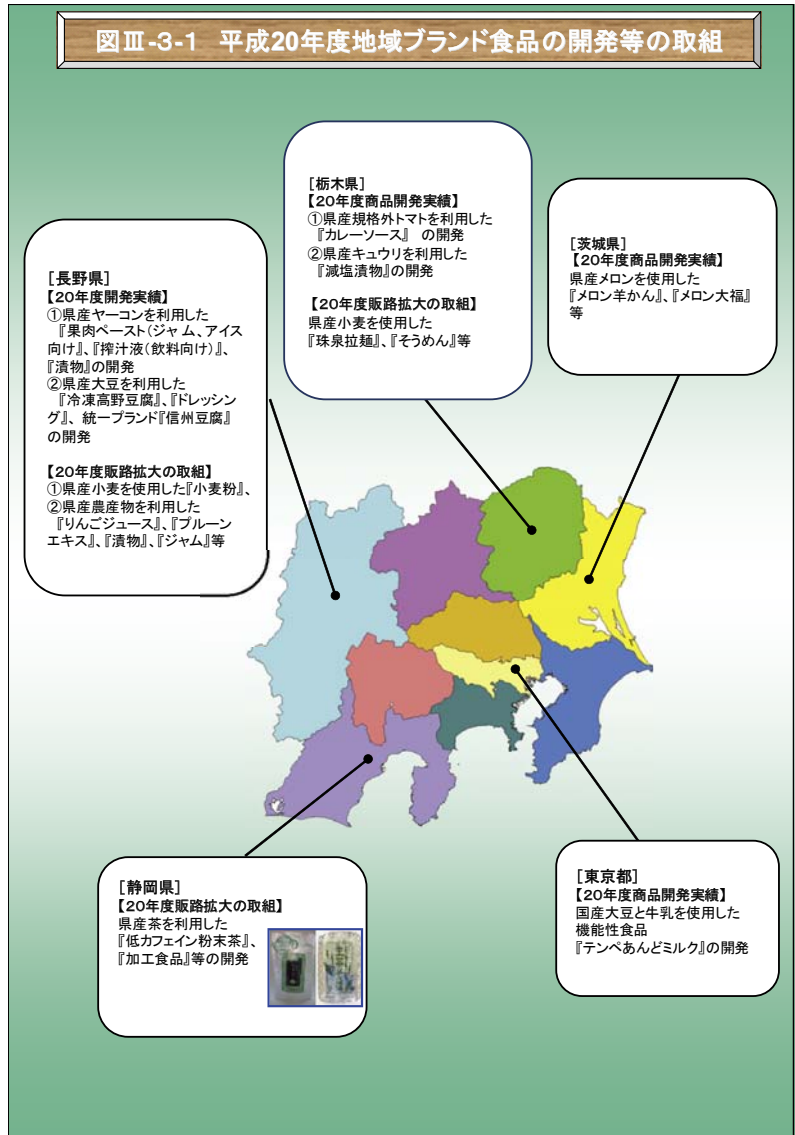
(2) 食品産業・農業等によるネットワークの形成

農業・食品産業・関連産業その他異業種を含めた連携を推進

ア 食料産業クラスターによる地域ブランド食品の開発の取組

「食料・農業・農村計画」(17年3月閣議決定)では、「地域の食材、人材、技術その他の資源を効果的に結びつけ、地域に密着した食品産業の振興を図るため、農業・食品産業・関連産業その他の異業種も含めた連携の構築(食料産業クラスターの形成)を推進する。」としている。関東農政局管内では、食料産業クラスターの形成により、これまでに42件の商品開発が進められ、19年以降は、開発された商品の販路拡大にも取り組まれている。

関東農政局では、この取組を推進する拠点として17年6月に「関東食料産業・先端技術クラスター連絡協議会」を、都県段階に19年6月までに「食料産業クラスター協議会」を組織化し、産官学の関係者によるネットワークを構築し、加工適性に優れた品種や新たな加工技術の開発・導入をはじめ、食品の新商品開発・販路の開拓等に向けての情報交換、技術課題の検討や共同研究などを推進している。(図Ⅲ-3-1)。



イ 食料産業クラスターの形成促進に向けた取組

関東農政局では、同連絡協議会と連携して、食品分野における技術開発のための助成・資金制度等を食品関係事業者等に紹介するとともに、管内の食料産業クラスターの形成促進や知的財産の保護に資する各種セミナー・展示会等を開催した。

20年10月に開催した「フード・テクノフェア in つくば2008」では、管内における「食料産業クラスター展開(推進)事業」の取組を紹介するとともに、新技術や研究成果の移転を促進するための技術展示を行った。21年3月に開催した「地域ブランドフォーラム2009」では、地域ブランド化された食品の先進的な取組事例の紹介と併せ、パネルディスカッションと意見交換を行った。